

# 「令和2年国勢調査石川県実施本部」の設置について

令和2年3月31日  
県民交流課 統計情報室  
(担当) 土田、林  
(内線) 3755

県では、5年毎に行われる国勢調査の実施本部を4月1日に設置する。  
これは、本年10月1日全国一斉に実施される国勢調査の事務に万全を期すため、  
県下各市町との連絡体制や広報などの実施体制を確立するもの。

## 1 目的

令和2年国勢調査の効果的な実施体制を整え、調査を適正かつ円滑に実施するために設置する。

## 2 期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

## 3 場所

県民文化スポーツ部県民交流課（統計情報室）内

## 4 組織

本部長 : 県民文化スポーツ部長

本部長代理 : 県民文化スポーツ部次長（総括）

副本部長 : 県民交流課長

参 与 : 総務課総括補佐、市町支援課総括補佐、  
企画振興部企画調整室次長、健康福祉部企画調整室次長、  
生活環境部企画調整室次長、商工労働部企画調整室次長、  
観光戦略推進部企画調整室次長、農林水産部企画調整室次長、  
競馬事業局競馬総務課総括補佐、土木部企画調整室次長、  
中能登総合事務所総務企画部長、奥能登総合事務所総務企画部長、  
（教委）企画調整室次長、（県警）生活安全企画課次席

事務局 長 : 統計情報室長

## 5 本部看板の設置

実施本部長が令和2年4月1日（水）午後2時に統計情報室前（行政庁舎10階）に  
看板を掲出する。

看板掲出後、実施本部長が事務局員に訓辞する。

**国勢調査のマスコットキャラクター「センサスくん」が激励に駆けつけます!**

「参考」

- ① 国勢調査の概要（別紙）
- ② 事前周知リーフレット

## 令和2年国勢調査の概要

県民文化スポーツ部県民交流課統計情報室

項 目	内 容
1 調査の目的	<p>我が国の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的とする。</p> <p>国勢調査は、我が国に居住するすべての人を対象とする国の最も基本的な統計調査として、大正9年以来5年ごとに行われており、令和2年国勢調査はその21回目で、開始から100年の節目に当たる。</p>
2 実施概要	<p>(1)調査時期 令和2年10月1日(木)午前零時現在</p> <p>(2)調査対象 我が国に居住するすべての者(外国人を含む。)            全国：約5,300万世帯、約1億2,600万人            (石川県：約47万世帯、約114万人)</p> <p>&lt;参考&gt;            前回調査(H27)時の人口と世帯数            人口 1,154,008人            世帯数 453,368世帯</p> <p>(3)調査事項(19項目)            ・世帯員に関する項目            男女の別、出生の年月、配偶の関係、就業状態、従業地又は通学地など15項目            ・世帯に関する項目            世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方など4項目</p> <p>(4)調査体系            総務省→県→市町→指導員→調査員→世帯</p> <p>(5)令和2年国勢調査の特徴</p> <p>① インターネット回答用IDと調査票(紙)を同時に配付            前回調査はインターネット回答用IDを先に配付し、回答の無い世帯にのみ調査票(紙)を配付していたが、調査員の負担等に配慮し、同時に配付する方式に変更</p> <p>② 誰もが答えやすいバリアフリーな調査            インターネット回答の多言語化や音声読み上げに対応した回答画面の導入、コールセンターの外国語対応やチャット形式による問い合わせ窓口の設置など、外国人や目や耳の不自由な方などの回答をサポートする施策を充実</p> <p>(6)結果の公表            令和3年 2月 人口速報集計            " 9月 人口等基本集計</p>





日本国内に住むすべての人と世帯を  
対象とした5年に一度の大調査

# 開始100年の 国勢調査、 はじまります



## いまを知る。

その積み重ねが、未来をつくってきた。

我が国では100年前から国勢調査の結果を  
国や地域が進む道筋を立てるために活用してきました  
令和2年、あなたと、日本にいる全員が希望を描ける未来へ  
開始から100年をむかえる令和最初の国勢調査が、はじまります

# 国勢調査 2020



総務省統計局・都道府県・市区町村

## 開始から100年をむかえる 令和2年国勢調査

国勢調査は、日本の未来をつくるために必要な、大切な調査です。

国や地方公共団体が正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、日本に住むすべての人・世帯に漏れなく、正確な回答をしていただく必要があります。

令和2年国勢調査へのご協力・ご支援をお願いします。



令和2年に実施する国勢調査は開始から100年  
大正9年の第1回調査は「文明国の仲間入り」が合言葉

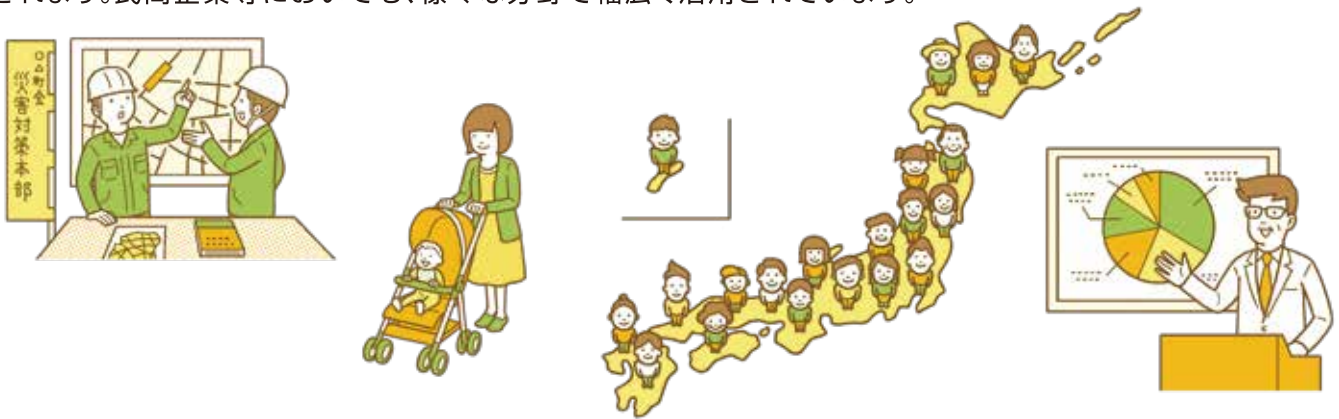
第1回の国勢調査は、計画から実施まで実に長い年月が費やされ、法律制定後からだけでも20年近くの年月を要しました。それだけに、統計関係者はもちろんのこと、国民も「文明国の仲間入り」を合言葉に大変な意気込みでこの調査に臨みました。名士による講演会、新聞の華々しい報道のほか、旗行列、花電車などの広報活動を展開、当時としては珍しいポスターも各地に貼りだされました。調査の行われた10月1日午前零時の前後には、各地でサイレン、大砲が鳴り、お寺やお宮では鐘、太鼓を鳴らし、文字どおり鳴り物入りのお祭り騒ぎで国を挙げての一大行事となりました。



### 〈調査の結果は、さまざまな行政施策の基礎データとして利用されます〉

調査の結果から得られる人口は、我が国の人口の基本となる法定人口として、選挙区の区割りや地方交付税の算定の基準などに利用されます。

また、男女・年齢別人口、昼間人口、世帯構成（高齢者のいる世帯など）、産業別の人口などの統計は、国や地方公共団体の社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などをはじめとして、あらゆる施策の基礎データとして利用されます。民間企業等においても、様々な分野で幅広く活用されています。



## 令和2年10月1日に国勢調査を実施します

日本国内に住むすべての人と世帯が対象です。



国勢調査2020キャンペーンサイト

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>

国勢調査 検索

